

指導教員名	関 陽
-------	-----

活動区分	イベント企画型	連携先	企業
	IT活用支援型		
	情報分析型		

～ 企業課題解決プログラム(株)日本ビジネスデータープロセッシングセンター×流通科学大学関ゼミ) ～

活動の様子



オープンカンパニー(ITエンジニア体験1)



オープンカンパニー(ITエンジニア体験2)



オープンカンパニー(ITエンジニア体験2)

企画・活動概要

理系・情報系学生をターゲットとした採用の強化のため、学生目線でのアイデアを盛り込んだオープンカンパニーの立案・広報提案およびアクティブラーニングを取り入れたIT業界体験の実践を行う。



キックオフ

経緯・背景・目的

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸主催の企業課題解決プログラムに参加し、日本データーのITソリューション事業の採用強化のための企画・提案を行う。

目的:

①理系・情報系学生をターゲットとした採用の強化のため、学生目線でのアイデアを盛り込んだオープンカンパニーの立案・広報提案・IT業界体験の実践を行う

②学生は、地元IT企業の課題に取り組むことで、主体的・協同的に課題解決のための提案・実践(アクティブラーニング)をし、社会に適用する思考力・判断力・表現力を磨く



中間発表

取り組む課題

<課題>

ITソリューション部門で、理系・情報系学生をターゲットとした新卒採用を強化したい

<そのために>

- ①学生目線のアイデアを盛り込んだオープンカンパニーの立案
- ②学生目線のアイデアを盛り込んだ広報提案(動画作成・説明会等)
- ③IT業界体験・実践による業界理解



中間発表

本学(学生)の役割

ターゲットを理系または情報系学生に絞り、「ターゲットがどんなことを知りたいのか」、「どうすれば応募意欲があがるのか」、「どのように情報をキャッチしているのか」などを調査研究し、学生目線での情報収集と議論のもとにできあがるオープンカンパニー立案や採用方法動画を完成させること。15名のゼミ生が各チーム5名の3つのチームに分かれ、キックオフ、2回のオープンカンパニーのITエンジニア体験、中間発表、最終発表、及びこれらの間の一連の課題解決のための試行錯誤や実践を行い、それぞれの課題解決案を提案した。



最終発表

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

「チームともだち」は、体験したオープンカンパニーの時の写真素材を活用し、自分たちが感じたオープンカンパニーの様子や雰囲気伝える広報動画を作成した。「チームけんじーず」は、実際のオープンカンパニーの体験とアンケートの分析結果を元に、自分たちなりのオープンカンパニー案を企画した。「チーム紅一点」は、自分たちが最も惹かれたキーワードに注目し会社紹介動画を作成するとともに、知りたいことについて直接社員に質問するインタビュー動画も作成した。動画は日本データーの公式Xと本学HPで掲載された。活動を通じて、学生たちが思考力・判断力・表現力を磨くことができた。



最終発表

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



経済学部
経済情報学科
准教授
関 陽(カン ヨウ)

<専門・担当科目等>
データベース、応用プログラミング、情報処理入門、公務員特別演習Ⅰ、経済情報特別演習Ⅰ、専門基礎演習、研究演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究など

ゼミ生たちが企業課題解決にチャレンジすることを通じて、いろいろな面で大きく成長することを期待したい。

<関係者・企業等>



株式会社日本ビジネスデータープロセッシングセンター(略称:日本データー)
管理本部人事課
弘原海次郎、松田様、伊関様、ならびに一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸の佐藤様、足立様、田頭様

学生の皆さんの新しい視点で、動画プラスα(SNS等)の広報提案も大歓迎です。